

私は真理について証をするために生まれ、そのために来た。真理から出た者は皆、私た。真理とは何か」（ヨハネ18・36-38）

ノシスコ 田中 隆弘  
されました。当日、堅信を受けたのは17名でした。そのミサの中で、わたしたちは「堅信の秘跡を通して聖靈の力で強められた兄弟姉妹が聖靈の恵みを信じ、その導きに従い、それぞれの場で使徒として与えられた使命を果たしていくことができますように」と共に祈りました。それぞれのタレントを大切にしながら。

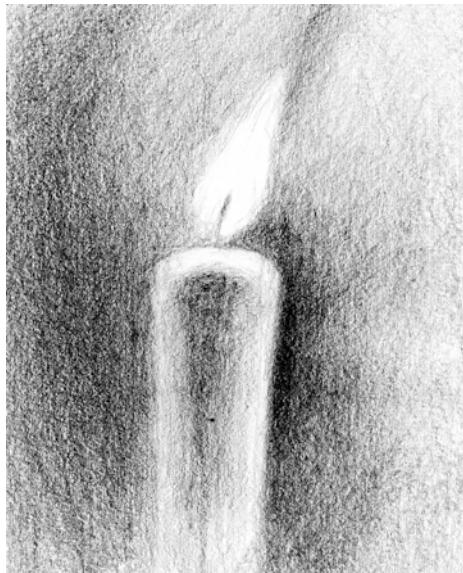
さて、以前2019年9月

王であるキリスト

主任司祭

アシジの聖フランシスコ

田中 隆弘



み言葉の中に命があった  
この命は人間の光であった。

ヨハネ 1:4

▶いかずちの子◀  
カトリック町田教会  
町田市中町3-2-1  
電話 042-722-4504  
FAX 042-722-4512



<http://www.machida-catholic.jp/>

「わたしの国は、この世のものではない」と語るイエスですが、それは「わたしの国はこの世の“人々”的な物ではない」と言つてゐるのではないかでしょうか。そして、イエスにとつてこの世の人々は中央志向に走り、それぞれの場の王権を自分のものとしようとしている者たちの集まりと觀いていたのではないでしようか。それぞれの所で自分中心に考え「それはよい！それはわかるい！」と考えてしまふそんな人々がこの世を支配している

29日帰天した竹山昭神父（鹿児島教区司祭）の講話を東京で聴いたことがありました。竹山師は「罪」ということに関する話の中で、創世記の創造物語の箇所で、エデンの園には命の木と善悪を知る木が園の“中央”にあつたとするされている。そして、もし人がそれを食べる人は死ぬと神は語っているが、それに対してもびはその実を食べると死ぬではなく、神のようになると語り、人に食べるようになります。人は食べたという物語を引用して、「罪」とは人が神にかかり、その園の中央に立ち自分たち中心になつた時はじまる、というような話をされまし。

## 導かれて歩む信仰の道

運営委員

松  
木

三

私のカトリック信者としての人生は、千葉の地から始まりました。信仰を家庭に運んでくれたのは母でした。私は千葉の聖母マリア幼稚園の一期生として、幼いころから教会の温もりに、一応、包まれて育ちました。

中学三年になる春、西千葉教会で吉川神父と山本量太郎神父のご指導のもと洗礼を授かり、カトリック信者としての第一歩を踏み出しました。このときの神父様方との出会いは、信仰の始まりとともに

奉仕の心の大切さの始まりになつたと感じます。

高校進学とともに東京への転居に伴い、麹町の聖イグナチオ教会の所属となりました。高校生会のほか、毎日曜七時までのミサで先唱と侍者を大学卒業まで続け、これが奉仕への喜びと、継続の大切さを知るきっかけになりました。

高校を卒業後、浪人時代にかけて信仰に迷いが生じた時期もありました。そんな折に母の紹介で、当時柏教会の岡田主任神父（前東京大司教）



(C) 東京大司教区

と観えていたのでしょうか。

のうちに歩んでいけるようになります。

と山本助任神父にあたたかく迎えられ、再び信仰の道へ導かれる機会を得ました。約二か月間、教会に住み込みで、様々な活動のお手伝いを通して、奉仕の心の大切さを、身をもつて教わりました。今でも忘れない教會との関わりの転機となつた出来事です。

大

学入

学後には、幼稚園時代からよく知るシスター景山の誘いで、イグナチオ教会の土曜学校に関わり、最終的に校長先生も務めました。子ども達との関わりで、信仰を伝えるだけではなく、自ら考える学びも多く得ました。

そ

そ

して大学卒業後は総合建設会社勤務で多忙な日々でしたが、月数回の先唱奉仕は、断ることなく続けました。

## 財務状況について

財務 奥村 耕平

25年度当教会で承認された「予算計画」に沿って二つの大きな取り組みを行いました。

まず一つ目は、共同墓地の改修工事です。これまでの区画では将来の収納数に限りが見えてきたため、より多くの方をお迎えできるよう、区画の見直しと再整備を行いました。工事費用は750万円となりましたが、これにより将来にわたり安心してご利用いただける環境が整いました。信者の皆さまの大切なご家族をお迎えする場所として、必要な備えができると感謝とともにご報告いたします。

きること』を、感謝と奉仕の心をもつて、控えめに続けて行ければと思う次第です。

結婚後、子どもの教会学校をきっかけに、町田教会に籍を移し、当初は「目立たぬ信者」を目指して静かに過ごしていましたが、高木神父より「建設会社での経験を活かして」とお声をかけていただき、施設管理委員会でお役に立てればと、現在、お世話になるに至つております。

母が運んでくれた信仰の種が、様々な神父様方等との出会い、そして共同体に尊かれ、今へと繋がっていることに心から感謝しています。

これからも『今、自分にで

## イラスト 教皇レオ十四世講話

### 神殿で祈るファリサイ派の人と徴税人

わたしたちを救うのは、自分の功績をひけらかすことでも自分の過ちを隠すことでもありません。神と自分と他の人々の前に、自分のありのままの姿を正直に示し、ゆるしを願い、主の恵みに身をゆだねることなのです。

参考

カトリック中央協議会  
(イラストルポ・池永廣美)



新教皇レオ14世



神の国は高慢な者ではなく、へりくだるるものであり、祈りと生活の中で、誠実さとゆるしと感謝を通して育つからです。

聖性の模範であるマリアに、このような徳が成長するようにわたしたちを助けてくださることを祈り求めます。



神殿で祈る  
ファリサイ派の人

徴税人

(ルカ18:9-14)

ファリサイ派の人を  
恥と傲慢で自分の傷を隠す病人にたとえ、  
徴税人を謙遜と知恵で、見苦しく見えても、  
自分の傷をありのままに示し、助けを求める  
もう一人の病人にたとえる

自分の病気を示すことを  
恥じなかったこの徴税人が  
いやされて戻ってきて、わたしたちは  
驚かない(「説教」(Sermones 351.1))。



聖アウグスティヌス

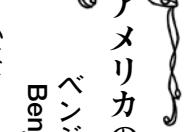
えております。

大きな出費があつた一年ではありますましたが、一方で収入面では皆さまからの変わらぬご支援に支えられました。月定献金、ミサ献金、建設積立献金、その他の献金を合わせ、年間で約1600万円ものお力添えをいただきました。皆さまがお祈りの心とともにささげてくださる献金により、これまでの蓄えを活かしつつも、教会財政は健全に推移しております。深い感謝を心より申し上げます。

教会は、皆さまのお祈りとお支えによって歩んでいる共同体です。これからも教会の働きが守られますよう、引き続きのお力添えをお願い申し上げます。

### アメリカのクリスマス

ベンジャミン・ミデマ



私はアメリカ出身のベンであります。アメリカでは、クリスマスは家族と過ごす大切な祝日です。日本の祝日と比べたら、お正月が似ていると思います。アメリカでは「感謝の日(Thanksgiving)」っていう祝日があります。「感謝の日」は11月の最後の木曜日に祝われます。「感謝の日」が終わると、クリスマスの季節が始まると、クリスマスの季節が始

まります。クリスマスの季節が始まると、家の外にクリスマスのライトを飾つたり、庭にクリスマスの飾りを置いたり、家中でもクリスマスの飾りを置いたり、貼つたり、貼つたり、貼つたりします。家に帰

り、家中にはお菓子や小さなプレゼントが入っています。そのもちろん、クリスマスの木も飾ります。暖炉があれば、家族は全員それぞれ自分の「クリスマスストッキング」を暖炉の上に掛けます。「クリスマスストッキング」っていうのは、プレゼントを入れる用の靴下で、赤色のものが多いです。

クリスマスの飾り付け以外では、どこのお店でもラジオからクリスマスの曲が流れているし、家族や友達のために贈り物を買うし、クッキーやお菓子を作ったりします。子どもたちは学校でクリスマスの劇もします。劇の内容は、イエス様が生まれた場面についての劇です。

クリスマスの一週間前から子どもたちの学校は休みで、クリスマス休みに入ります。大人も仕事によるけど休みがあります。家族ごとによつてあります。文化がちよつと違いますが、私の家族では12月24日のクリスマスイブに教会へ行きます。その後、親戚の家に集まつて、夕飯を楽しみます。その次

の日、朝にサンタからもらつたプレゼントを開いて、家族にプレゼントの交換もします。クリスマスストッキングの中にはお菓子や小さなプレゼントが入っています。その後は家族で朝ごはんを食べて、ゆっくりと過ごします。

クリスマスイブとクリスマスはほとんど外出しません。お店もやっていません。それは、家族と大切な時間を過ごすためです。お正月まで学校や仕事は休みで、その間は家族や友達と一緒に過ごします。雪が

(二)の記事はベンさんが日本語で書かれたものです



### ワンポイント聖書 温故知新

⑩

余生風 佐藤 正明

惱むヨセフに天使は告げた。「恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖靈によって宿つたのである」(マタイ1:20)と。そして、マタイ福音書はその誕生がイザヤの預言の実現であり、その子は「神は我々と共におられる」という意味で、



降っているなら、外で雪だるまを作つたり、そり遊びをしたり、スキーやスノーボードにも行つたりします。家に帰ると暖炉に火を灯して、ココアを飲みながらクリスマス休みを楽しめます。

11月16日  
七五三おめでとう



わる。その結果インマヌとなり、それにエルが付くとインマヌエルとなるわけだ。聖誕は救い主を待ち望んでいた民に、神が与えた最良の福音だった。典礼A年の基督福音書はマタイだが、その第1章はこの「我々と共におられる神」に収斂する。ところが、「と共に」と言うキーワードは、マタイ28章でも1章と呼応するかのように現れるのだ。主が「私は世の終わりまで、現れるのだ。主が「私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」と言われたからだ。インマヌエルと呼ばれた主はご自分の方からそう断言された。でも、それは主客対象が入れ替わっている。それに気付くと、私たち驚きを禁じ得ない。救いの御業は何と深く一貫していることか!と。

## 共同墓地の改修

小溝  
茂雄

2000年に設立された町田教会共同墓地は、2019年に統合して再び墓誌の増設が必要となりました。

幸い墓地裏側の敷地を東京大司教区から借用することができ、敷地を2倍に拡張して墓誌を増設すると共に、地下に散骨室を新設する改修工事を行うことになりました。工事は4月に開始されて8月末に完了し、11月5日の共同墓参に併せて祝別を行ないました。共同墓参は、田中神父様式のものと、教会からのマイクロバスと直接現地に出向いた35名で祈りを捧げました。



11月5日の共同墓参→  
拡張された墓地と増設された墓誌↓



## 避難訓練の実施

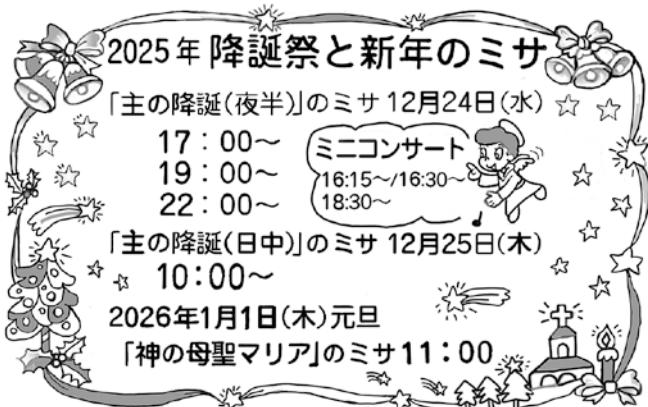
運営委員会議長 福富英里子

10月5日(日)に『地震』

想定で避難訓練を実施しました。屋外のマリア像前に防災本部を設置し、本部長、副本部長、救護班が待機。指示アナウンス係、誘導係、残留者確認係、車椅子誘導係に分かれて誘導しました。(案内・受付係にも応援を要請)。

約150名の方が参加。避難開始から5分で完了。混乱なく避難することができました。

次回は外国の方、高齢の方に分かりやすく周知し、より多くの方にご参加頂けたらと思います。



## 信者動静

2025年9月~11月



(11月30日)

林正人神父をお迎えしての講話  
(12月7日)

## 待降節講話

(個人情報のため、削除しています)

アダニロ・バジエホス・ムティ  
ア指導司祭による英語の講話